

# 大会規則

1. トーナメント方式とし、各試合7イニングとする。
2. 使用球は、公認球M号ボールとする。
3. 得点差によるコールドゲームは、選手の健康状態を考慮し、3回15点差、4回10点差、5回以降7点差の時に適用する。
4. 日没、降雨等で試合続行不可能と審判団が判断したときは、5回で試合成立。  
また、5回以前の時は継続試合とする。
5. 雨天順延を原則とする。(小雨決行)
6. 試合は1時間30分とする。1時間30分を越えて新しいイニングには入らない。  
(但し、決勝戦は除く)この場合においては5回以前でも試合は成立するものとする。  
同点の場合、特別延長戦を適用する。  
〔特別延長戦〕同点で7回終了あるいは制限時間となった場合は、継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者として、無死1・2塁の状態、1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、以後継続打順でこれを繰り返す事とする。  
但し、1・2回戦については特別延長戦は1イニングのみとし、同点の場合はすぐ抽選とする。
7. ベンチの入場については、部長、監督、コーチ以外の大人は当該校の先生でも入ることはできない。
8. 第1試合を行うチームは、試合開始予定の1時間前までに試合会場に到着すること。
9. 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始予定時刻の40分前とする。  
第2試合以降は、前試合の4回終了時とする。各チームの主将はメンバー用紙を4枚持って、本部席へ来ること。(事情により監督不在の場合は申し出ること。)
10. ベンチは、組み合わせ表の番号の若い方を一塁側とする。
11. 試合前の打撃練習はフリー、ハーフバッティングは行わない。
12. シートノックは後攻側より始めて5分以内とする。但し、前試合が延びている場合、悪天候の場合は省略することがある。
13. 攻守の交換は迅速に行い、先頭打者と次打者とランナーズコーチは速やかに所定の位置につくこと  
イニングの始めでミーティング中でも必ず先につかせるよう指導すること。
14. 次打者またはその代打者(投手といえども)は、必ず次打者席に位置しなければならない。
15. 無用のタイムは慎み、試合進行に協力すること。
16. マスコットバット、リストバンド、鉄棒、バットリングの使用を禁止する。但し、テーピングは肌色等に着色したものとする。手袋は、白、黒で無地のものとする。
17. 打者はみだりに打者席をはずしたりしてはならない。監督よりのサインを見るために打者席をはずしてはならない。打者席内で見るよう指導すること。
18. 突発事故が起きて一時走者を代えたいときは球審に申し出て、審判団が必要と認めたときは、これを許可する。
19. 守備側チームの監督が故意四球とする意思を球審に示した場合、投手は投球を行う必要なく、打者にはボール4個を得た時と同じように一塁が与えられる。
20. 審判の判定に対する抗議はできない。
21. 規則適用上の疑義の申し出は、監督及び当該プレーヤーと主将とする。この場合、要旨を端的に述べ、大会運営に支障をきたさぬように留意すること。
22. 選手交替の申し出は監督が行う。
23. 特別延長戦においてPH、PRを使用する場合、決められた者が各塁、打者についた後、主審に申し出る。
24. 監督は、選手と同じユニホームを着用する事。
25. 監督はファールラインをこえて、ダイヤモンド内へ入ってもよい。
26. 野次は慎むこと。特に投球寸前の野次や歓声は厳禁する。  
素晴らしいプレーには敵味方なく拍手を送りたい。
27. 打者、走者、次打者、ベースコーチは公認マーク入りのイヤラップのついたヘルメットを着用すること。

28. 捕手は、公認マーク入りのマスク（スロートガード付き）、ヘルメット、プロテクター及びレガース、ファールカップを着用すること。
29. 試合終了後の挨拶ですべて完了とし、次の試合のためにベンチを速やかにあけること。

【その他の申し合わせ事項】

1. 選手の頭髪、身なり等は中学生らしく、試合中はもちろんのこと、試合の前後においてもスポーツマンらしく、マナーには十分注意すること。
2. 応援者は次の禁止事項を守って応援すること。
  - ①紙吹雪、テープを禁止する。（太鼓・ペットボトル・笛は不可）
  - ②相手チームを汚く野次ったり、相手チームに不利を招くような応援をしない。
  - ③応援席周辺を散らかさない。
  - ④その他、中学生らしからぬ行為をしない。
3. 各会場においては弁当、ジュースの空缶等の後始末は当該チームにてきちんを行うこと。
4. 試合終了時に当該チームは、ベンチの清掃、グラウンドの整備等に協力すること。
5. 試合を行うチームは補助員として、一塁側チームからはボールボーイを、三塁側チームからは、SBO記録員でそれぞれ2名程度出すこと。
6. 投球練習を受ける捕手については、マスク（スロートガード付き）を着用する事。ファールカップも着用することが望ましい。（ブルペンでも同様とする）